



校長室だより

月立小学校 校長 鹿野田忠之
令和3年5月28日 発行
第 2 号

「不易」と「流行」

校長室から見える山々の緑も濃くなってきました。新緑が目にもぶしい、気持ちのいい季節になってきました。思い起こせば、昨年の今頃は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業で、まだ学校に子どもたちが来ていませんでした。学校中が閑散として、とても寂しかったことを覚えています。今年は、4月に通常どおり始まり、子どもたちの元気な声が、校舎や校庭に響き渡り、学校の本来のあるべき姿を実感する毎日です。

さて、校長室に「不易流行」という書の額が飾ってあります。この「不易」と「流行」について、教育の世界では、しばしば話題となります。

二つの言葉の意味について、国語辞典には次のように記載されています。

「不易（ふえき）」 …時代を通じて変わらない価値のあるもの。 「流行（りゅうこう）」 …時代の変化とともに変化するもの。はやり。

教育をこの二つの言葉から考えたとき、「豊かな人間性の育成」や「知・徳・体の調和のとれた児童の育成」などは、時代がどう変わっても大切にしたい「不易」に当たる部分と考えます。一方、「英語教育」や「プログラミング教育」など、その時代で必要とされる教育が「流行」に当たる部分と考えます。

今の社会は日進月歩です。「10年ひと昔」という言葉がありますが、今となつては、10年も経つと、かなり大きな変化が見られる時代です。そのときの「流行」だけに振り回されることなく、いつの時代になっても変わらない「不易」なものを大切にしながら、子どもたちと関わっていきたいと思う今日この頃です。



子どもたち頑張りました ～運動会～

運動会を無事開催することができました。前日の準備から当日の実施まで、天候の心配を全くしなかったのは、私の教員生活の中でも数えるほどの経験です。

本来であれば、地域の方々にも子どもたちの元気な姿を見ていただきたかったところですが、感染症拡大防止のため、入場者を制限させていただきました。申し訳ありませんでした。

今年の運動会も、子どもたちに種目を考えさせたり、競技の進行を任せたり、子どもたち中心の運動会となるようにしました。子どもたちは種目を考える上で、「どうしたら見ている人たちにも楽しさが伝わる競技になるだろう」「1年生から6年生までのみんなが分かりやすい振り付けは、どうしたらよいだろう」「密にならないで競技をするにはどうしたらよいだろう」いろいろ試行錯誤しながら、企画をしてくれました。当日も自分の種目に一所懸命取り組み、すぐに係の仕事に走る子どもたちの姿を見て、とても頼もしく思いました。

今後も、子どもたちが活躍できる場面を数多くつくっていきたいと思っています。



月立っ子ギャラリー



玉入れ かごを狙って！



保護者の皆さんに立てていただきました



鹿踊り 上学年から下学年への伝承



5, 6年生が率先して練習しています



アユの放流を行いました



租税教室 1億円の重さを体験

ホームページ 更新中！

子どもたちの頑張りの様子や教育活動について、できるだけ多くの皆さんに知っていただくことを目的に、「月立小学校ホームページ」を開設しています。日々の学校での出来事や子どもたちの様子をアップしていますので、ぜひご覧ください。地域やご家庭での話題にいただければ幸いです。

こちらへアクセス → <http://www.kesennuma.ed.jp/tsukidate-syou/>